

第3学年

練馬区立上石神井中学校  
令和7年2月18日(火)

# 学年通信

No23 発行者：石坂恵理

## 道徳の授業から

先日の道徳の授業では、「私の再出発」という読み物教材を読み、今後、自分はどのような学びがしたいのか、どのように学んでいくか、それぞれ考えを深めました。間もなく義務教育を終えようとしている3年生のみなさんは、どのようなことを考えているのでしょうか。一部を紹介します。

- ・学んだことを活かして、何かを達成したり、人との輪を広げたり、自分にできることを増やしていきたい。そして、学びを人のために使えるようにしたい。
- ・世界では今、何が起こっていて、どんな問題があるのかを知りたい。また、世界史や、私たちはどのようにして情報を得ているのかということも知りたい。
- ・誰かに言われてやるのではなく、自分から学びたいことを見つけていきたい。
- ・自分の将来の夢に近づくためには何が必要なのか、何が大切なのかを考えつつ、周りの人の行動や意見を知って、場面場面での対応の仕方を学びたい。
- ・学び続けることは、良い連鎖を生むと思います。1つ1つの学びを大切に、将来の自分に役に立つような学びをしていきたい。



## 卒業文集の作成が進んでいます

卒業に向けて、卒業文集の下書きもほぼ終わり、昨日より清書を始めています。3年間を振り返りながら、さまざまな思いが込められている卒業文集……きっと良い思い出となるでしょう。一部を紹介します。(卒業アルバム、文集は、5月末頃までに自宅配送となります。)

- ・入学当初、勉強や部活など、新しいことばかりで不安でしたが、友達にいつも支えられました。学校行事やテストで一喜一憂したり、普段何気なく交わした会話も、今となっては思い出です。
- ・私が最近感じる幸せは、家に帰ったら温かいご飯をたくさん食べられること。お風呂上りにアイスを食べること。昼寝をすること。昼休みに友達と遊ぶこと。友達と校門のまでとりとめのない話をすること。これらの幸せは、すべて中学校で過ごした3年間で見つけました。そして、このような幸せは、一人では成り立ちません。支えてくれる家族や友達がいることで成り立つのです。
- ・被爆の体験談を聞く会や、長崎修学旅行を通して、私は平和の大切さを学びました。私たちが今、平和な世の中で生きていられるのはとてもありがたいことで、それは多くの人の努力の上に成り立っていることを実感した3年間でした。
- ・いつもそばで支えてくれる人がいて、学校に行くことができるということは、当たり前ではありません。その幸せに、感謝の気持ちを持ち続けられる人に私はなりたいです。これまでの15年間、私はいつも誰かからの優しさや力を借りて生きてきました。中学校で学んだこと、あふれる感謝の思いを忘れず、成長し続けていきたいです。
- ・この3年間、温かい雰囲気のあるクラス、友達に恵まれて、楽しく過ごすことができました。小学校時代に比べて、広く人間関係をもつこともできました。もちろん、楽しいことばかりではありませんでしたが、苦しいことがあっても、ともに乗り越えることができるこの学年が、私は大好きです。

